

平成21年4月21日

第2回独立行政法人農林漁業信用基金  
支出点検プロジェクトチーム議事概要

1.日 時：平成21年4月15日（水）14：00～

2.場 所：独立行政法人農林漁業信用基金役員会議室

3.議事概要：

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム設置規程第2条第2項の規定に基づき、平成21年度の取組目標を設定した。

4.資 料：

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム平成21年度取組目標（別紙）

(別紙)

独立行政法人農林漁業信用基金支出点検プロジェクトチーム

平成21年度取組目標

1. 平成21年度における支出の無駄削減

平成21年度における支出の無駄削減のため、以下の取組を実施する。

(1) 定期購読物

- ・ 定期購読物については毎年度購読の必要性等を検討しているが、購読の必要性について更なる検討をする。

(2) 随意契約の見直し

- ・ 一般競争入札等（競争入札及び企画競争・公募）の競争性の高い契約方式への移行を推進する。
- ・ 事務の省力化、契約の公正性の確保及びコストの削減を図る観点から、次の取組を推進する。
  - ア 備品の調達に当たっては、更新時期の把握を行い、更新時期が近いものは取りまとめて発注するなど、計画的な一括調達に努める。
  - イ 各勘定で共用できる消耗品については、平成20年度より各勘定毎の個別調達から一括調達に切り替えたところであるが、一括調達の対象範囲の拡大について検討する。

(3) 事務用品

- ・ コピーを実施する際には、可能な限り両面コピーを行い用紙の使用量の削減を図る。

(4) 出張経費

- ・ 割引制度の適用が無い、日程が直前まで定まらない等の事情がある場合を除き、割引運賃及びパック商品等を利用することにより、出張旅費の効率化を図る。

(5) 電話料金

- ・ 通信費の削減について検討する。

(6) 郵送料金

- ・ 信書以外の郵便物の発送について、メール便等の活用について検討する。

(7) その他

タクシー代

- ・ タクシー使用については、使用基準に基づき適正な管理を行い、引き続き抑制に努める。

その他

- ・ 公益法人への支出や一般競争入札結果（一社応札）の動向について精査を行う。

## 2．平成22年度に向けての支出の無駄削減

平成21年度の支出状況の点検

- ・ 支出の無駄削減に向け、支出状況を半期毎に取りまとめ、点検する。

平成22年度の支出への反映

- ・ 支出状況等の点検結果を踏まえ、平成22年度の支出に反映させる。

外部機関からの指摘に対する対応

- ・ 会計検査院からの指摘、主務省に設置される独立行政法人評価委員会及び政策評価・独立行政法人評価委員会の指摘事項等については、平成22年度の支出に反映させる。

## 3．一人一人の職員の意識改革

以下の取組を行い、無駄な支出の削減に対する一人一人の職員の意識を高める。

### (1) 職員からの提案の募集

- ・ 「独立行政法人農林漁業信用基金業務改善提案・事務リスク自主点検実施要領」（平成19年12月制定）により、引き続き、職員から経費の節減及び事務処理方法の効率化について提案を募る。

### (2) 職員間での意識の醸成

- ・ 各種会議や職員掲示板への掲示を通じて、本取組目標や職員から提案のあった有効な業務改善について周知を図る。
- ・ OA機器及び照明のこまめなスイッチオフを行うなどエネルギー使用量の抑制に努めることについて周知を図る。

### (3) 職員研修の充実

- ・ 既存の研修制度において効率的な予算執行・無駄な支出の削減への取組について周知を図る。